

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		パーティションを使って個別のスペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	6		普段は問題なく支援が出来ます。	職員の怪我などによる急遽の休みの際、難しい時があります。児発管がフォローに入る、他校舎に応援を要請するなど適宜対応できるようにしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		階段が急ですが、手すりがついていること、職員がついて昇降するようにしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		療育が終わるごとに使用した机と椅子、洗面所の消毒を心がけております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				非該当
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		毎月の研修は全職員が参加できるよう日程調整しています。	県立療育センターで実施された Zoom を使った外部研修に参加させていただきました。
支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		アセスメントは半年に 1 回集計を取り指導員間で共有するように努めております。	前年度に比べ会議の場が少なかったため適宜開催できるよう努めていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		NC プログラムのツールを使用しております。	

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			今後も支援計画会議を作成し取り組んでいきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		職員同士で共有しながらプログラム立案をしています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		複数担当で情報共有しながら活動プログラムの工夫を行っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		長期休みで朝から支援が入っている時は、時間を変更し、全員が揃う中でミーティングを行うようにしています。	打ち合せを行うとともにアプリにも共有すべき事を入力し、公休の職員の確認漏れが無いように徹底します。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			翌日の朝礼・ミーティングで情報共有をしています。シフト制のため、確認漏れが無いように、利用しているアプリも使って共有いたします。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		モニタリングを各指導員が行い、児発管と共有しています。		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児発管が参加しています。会議後は全職員に内容を共有しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		北上市の子ども支援部会に参加させていただき、市担当者様や保育・学校関係者様、相談支援専門員の方々との情報共有を行っています。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				非該当
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）				

	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		北上市の子ども支援部会に参加させていただき、市担当者様や保育・学校関係者様、相談支援専門員の方々の情報共有を行っています。	保育園の職員の方々に見学していただける機会がありました。今後は保育園などと相互での見学や情報共有をしています。
②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		北上市の子ども支援部会に参加させていただき、市担当者様や保育・学校関係者様、相談支援専門員の方々の情報共有を行っています。	
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		わんぱく会小田様よりアドバイスを頂きました。	北上市の子ども支援部会に参加させていただき、市担当者様や保育・学校関係者様、相談支援専門員の方々の情報共有を行い、その中で行われている研修に参加しています。今後も継続して参加させていただきたいと思います。
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				非該当
②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6			
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			新型コロナウイルス感染症対策でフィードバックの時間を短縮しているため、少しずつ時間を延ばしていきたいと考えています。
③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6			
③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			詳しい説明が不足している部分があったため、半年に1度を目安に保護者様と情報共有の場を確保していきます。
③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		今年度は実施できませんでした。保護者様の意向などをふまえ保護者様向けイベントの実施を検討していきたいです。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		Line や Google フォームを利用し、相談をお受けすることが増えてきました。今後も継続して取り組んでいきます。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		会報を今年度から開始いたしました。	イベント実施や療育の様子、防災訓練の実施などの周知のため、継続して取り組んでいきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		地域の方を招待はしていませんが、地域の商店の方に協力いただきました。野菜の袋詰めなど、貴重な体験をさせていただきました。	
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6			市外からのご利用の方も多いため、水害時・地震時の避難場所の違いを明記したものを配布いたします。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		月 1 回行っています。多くのお子さまに参加していただけるよう、複数の利用時間で実施しています。	
非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		聞き取りを行い確認、処方箋等もコピーさせていただいています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			食事提供ありません。買い物外出等の際はその都度確認し、個別に対応しています。	非該当
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」北上校 保護者等数（児童数）：15(17) 回収数：12

割合：80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1	0	1	階段は急だが職員がついているので問題ない。	お子さまが一人にならないよう、必ず指導員がついて階段の昇降を行います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	0	0	2		児童発達支援ガイドラインを、見学時や契約時に説明を行い、ご理解いただけるように支援計画・支援内容の説明をいたします。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	0	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	0	1	2	保育園の見学を受け入れてもらった。	保育園や幼稚園での様子をしり、情報共有ができるよう、保護者様に確認しながら実施したいと考えおります
保護者への	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	1	1	1		十分に時間を確保できなかったため、保護者様と共有する時間をとり、計画的に行います。

説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	7	1	2	2		日々のフィードバックでお伝えできることが限られているため、イベントの実施や事業所内相談支援の利用を検討してまいります。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	1	0	0		日々のフィードバックを行っておりますが、環境の関係で簡易的なものになっております。来年度アンケートを実施し、保護者様に寄り添える形で行えるよう検討いたします。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	2	1		事業所内相談支援をご案内し、活用してまいります。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	0	1	8	これは求めているので良いと思います。	今年度は実施できませんでした。保護者様の意向などをふまえ保護者様向けイベントの実施を検討していきたいです。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	0	0	1		Line や事業所内相談支援を利用していただき、相談の場が以前よりも増えました。皆様に知っていただけるよう会報などを使い周知いたします。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	0	1	1		会報やブログを行っております。最近ご利用が始まった方にも周知してまいります。
非常時等の対応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	11	0	0	1		外出時の取り扱いなども含め、今後も十分に注意し取り扱ってまいります
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	0	1	2		訓練の実施は会報やブログにて周知しております。来年度も継続して取り組み、会報等で報告いたします。
満足度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	0	0	5		会報にてお知らせしているため、配布の際説明を行います。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	0	毎日「クラ・ゼミある？」と聞いてくるくらい楽しみにしています。	今後も楽しんで通所いただけるよう、沢山の教材・活動を研究し用意いたします。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	11	1	0	0	支援の時間が少し短く感じることもありますが、遊びの幅が増えて楽しんで通えることができます。	報酬改定後に向けた小集団や療育時間の変更を検討しております。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したもの